

武蔵野市文化振興基本方針 体系と目次構成

■方針の体系に関する考え方

方針を構成する3つの要素

1. 文化によって実現したいまちの姿
2. 文化振興の重点方針
3. 主要施策

○方針では、第一に武蔵野市が文化振興に取り組むにあたっての基本的な考え方として、**文化によって実現したいまちの姿**を示します。それは、武蔵野市における文化振興の取組全般にかかる大きな目標と位置づけます。また、実現したいまちの姿に向けて施策を行うにあたって、共通して備える視点や要素もあわせて示します。

○第二に、文化振興の取組全般のうち、**今後おおよそ10年間(方針の有効期間)のあいだに特に取り組むべき方向性＝文化振興の重点方針**を示します。様々に取り組む文化振興のなかにあって、今後おおよそ10年間のあいだに新たに取組む内容、ないしは既存の取組を深化・充実させる方向性を示すものとして位置づけます。

○さらに第三として、重点方針実現のために**取り組む主要施策**を示します。

【体系のイメージ】

市の文化振興の全容

文化振興基本方針にて示す範囲(大きな目的と今後10年の方針)

文化によって実現したいまちの姿

武蔵野市における文化振興の大きな目標

共通して備える
視点・要素

共通して備える
視点・要素

共通して備える
視点・要素

共通して備える
視点・要素

共通して備える
視点・要素

施策
施策
施策
施策
施策
施策

重点
方針
①

重点
方針
②

重点
方針
③

重点
方針
④

...

重点
方針
○

重点
方針
○

施策
施策
施策
施策
施策
施策

主要
施策

主要
施策

主要
施策

主要
施策

主要
施策

※文化に関する施策は多々ありますが、継続的に取り組んでいく内容はあえて位置づけず、今後10年間に於いて特に取り組むべきものや市にとって重要な施策だけに絞って位置づけることで、現在および今後の武蔵野市の特徴を捉えた方針にしていきたいと考えています。

■方針の目次構成(案)

第1章 文化によって実現したいまちの姿

○第1章では、武蔵野市における文化振興の目標となる「文化によって実現したいまちの姿」について記述します。

○「文化によって実現したいまちの姿」は、武蔵野市における文化振興全般にかかわる内容を示します。そのため、第3章で示す重点方針ではフォローされない内容も含まれますが、定常的な施策を通じて目指すべき事柄として示すものです。

○それにくわえて、第1章には、様々な施策に共通する視点や要素についても記載します。

■文化によって実現したいまちの姿(例)

- ・市民が質の高い文化に身近に触れることができるまち
- ・年齢や障害の有無、経済格差にかかわらず文化を享受できるまち
- ・文化を通じて多様性を知り、それを受け容れるまち など

■共通する視点・要素(例)

- ・年齢や障害の有無、経済格差にかかわらず参加しやすい など

第2章 武蔵野市の文化的な要素

○武蔵野市内にある文化的な要素(人・モノ・コト・場所)を、市が保有するかどうかにかかわらず、広く収集し、まとめて紹介します。

○第2章では、魅力を周知するとともに、文化振興を進めるにあたって活用できる要素をまとめておくことが目的と考えます。

第3章 今後10年間の重点方針

○第3章では、今後おおよそ10年間に於いて重点的に取り組む内容を重点方針として示します。そして、方針ごとに課題認識や取組の方向性、活用できる要素を位置づけます。

○さらに、重点方針実現のために取り組むべき主要施策について記載します。主要施策は必ずしも1つの重点方針に関連づけられるわけではなく、複数の方針を踏まえるものが増えると考えます。

■今後10年間の重点方針(例)

- ・子どもが想像力や創造性を働かせて自由に文化活動に取り組む機会をつくる
- ・障害の有無を超えて交流を促し、相互に理解を育むことを促す事業を行う
- ・福祉や環境、まちづくりに文化の力を活用する など

第4章 文化振興にあたっての各主体の役割

○第4章では、市、文化事業団、市民、民間事業者など、文化振興にかかわると考えられる主体ごとに、文化振興に対して果たしてもらいたい役割を示します。

○ここで示す役割は、第一には今後おおよそ10年間の役割とともに、より大きな目的となる「文化によって実現したいまちの姿」のために果たしてもらいたい役割ともなります。